

- 1 朱印船貿易が盛んだった時代、東南アジア各地の港町に形成された日本人の居住地を何という？
- 2 1669年、松前藩による不当な交易や支配に反対して、大規模な蜂起を指導した人物は誰？
- 3 江戸時代初期、幕府の許可を受けた船が東南アジア各地へ渡航して行われた貿易を何という？
- 4 江戸時代、幕府から蝦夷地での交易を独占する権利を認められ、アイヌの人々と商取引を行った藩を何という？
- 5 江戸時代に、太夫の語りと人形を操る動きに合わせて演奏された、伝統的な弦楽器を何という？
- 6 江戸幕府が、キリスト教の禁止や貿易の制限などを通じて行った、海外との往来を厳しく制限する政策を何という？
- 7 江戸時代、諸藩が年貢米や特産物を売りさばくために、大坂などの主要都市に置いた拠点は何という？
- 8 山田長政が指導者となり、東南アジアのシャムで日本人が居住していた場所を何という？
- 9 江戸時代、年貢の取り立てなどに苦しみ、支配層に反抗した農民のことを何という？
- 10 18世紀後半のフランス革命によって倒された、国王が議会の縛られず国政を支配した政治体制を何という？
- 11 江戸時代、参勤交代などによる人や物の往来のため、江戸を起点として整備された主要な五つの街道を何という？
- 12 江戸幕府が諸大名を統制するために、将軍が大名に対して義務づけた、江戸と国元を往復させる制度を何という？
- 13 『解体新書』の刊行をきっかけに、日本で発展することとなった学問分野を何という？
- 14 江戸時代、幕府が全国支配のために、諸国の支配者たちを統制する対象とした人々を何という？
- 15 江戸時代初期、徳川家康が海外渡航を行う商人に対して与えた、貿易を許可する公文書を何という？
- 16 産業革命において、工場の動力源となり、大量生産を可能にした発明を何という？
- 17 18世紀後半、幕府の財政を立て直すために商工業者の株仲間を公認し、営業税を納めさせた老中は誰？
- 18 17世紀後半、流血を伴わずに国王を交代させた革命が行われた国はどこですか？
- 19 『東海道中膝栗毛』で、喜多八とともに江戸から伊勢参りへ向かうもう一人の主人公は誰？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	日本町 は、商人が集まって住み、交易の拠点やコミュニティとして機能した場所です。		日本町	☐
2	1669年、アイヌの指導者 シャクシャイン は、各地のアイヌをまとめ上げて松前藩に対する大規模な蜂起を起こしました。		シャクシャイン	☐
3	朱印船貿易 は、幕府から許可を受けた商人たちが、タイ（当時のシャム）やベトナム、ルソンなどの東南アジア諸国へ渡り、日本からは銀や銅を輸出し、生糸や薬品などを輸入する貿易です。		朱印船貿易	☐
4	松前藩 は、アイヌの人々との交易を独占することで利益を得ました。		松前藩	☐
5	人形浄瑠璃は、太夫による語りと人形の操作、そして 三味線 の伴奏が一体となって進行する総合芸術です。		三味線	☐
6	鎖国 は数段階を経て完成しました。		鎖国	☐
7	大坂には諸藩が「 蔵屋敷 」という拠点を設けました。		蔵屋敷	☐
8	アユタヤの日本町 は、当時のシャムの首都アユタヤに形成された日本人の居住区です。		アユタヤの日本町	☐
9	百姓 たちは団結して村の代表者が領主に直訴する「代表越訴」や、武装して抵抗する「一揆」などを行い、自らの権利や生存を守ろうとしました。		百姓	☐
10	絶対王政 とは、王が議会に縛られず、軍事力と官僚組織を駆使して国民を統治する制度です。		絶対王政	☐
11	五街道 とは、東海道・中山道・日光街道・奥州街道・甲州街道の五つを指します。		五街道	☐
12	諸大名は1年おきに自分の領地と江戸を往復しなければなりません。		参勤交代	☐
13	杉田玄白らが『解体新書』を出版したことにより、 西洋医学 の知識は広く知られるようになりました。		西洋医学	☐
14	大名 は、1万石以上の領地を持つ武士の呼称です。		大名	☐
15	朱印状 は、赤色の印を押した海外渡航許可証です。		朱印状	☐
16	ジェームズ・ワットらによって改良された「 蒸気機関 」は、石炭を燃やして発生した蒸気によって動力を得る仕組みです。		蒸気機関	☐
17	田沼意次 は、商工業者の同業者組織である「株仲間」を積極的に公認しました。		田沼意次	☐
18	1688年、 イギリス では議会が国王を追放し、新たに国王を迎え入れるという大きな変化が起きました。		イギリス	☐
19	弥次郎兵衛 は、江戸時代の代表的な滑稽本『東海道中膝栗毛』の中心人物の一人です。		弥次郎兵衛	☐

言えなかった用語ノート